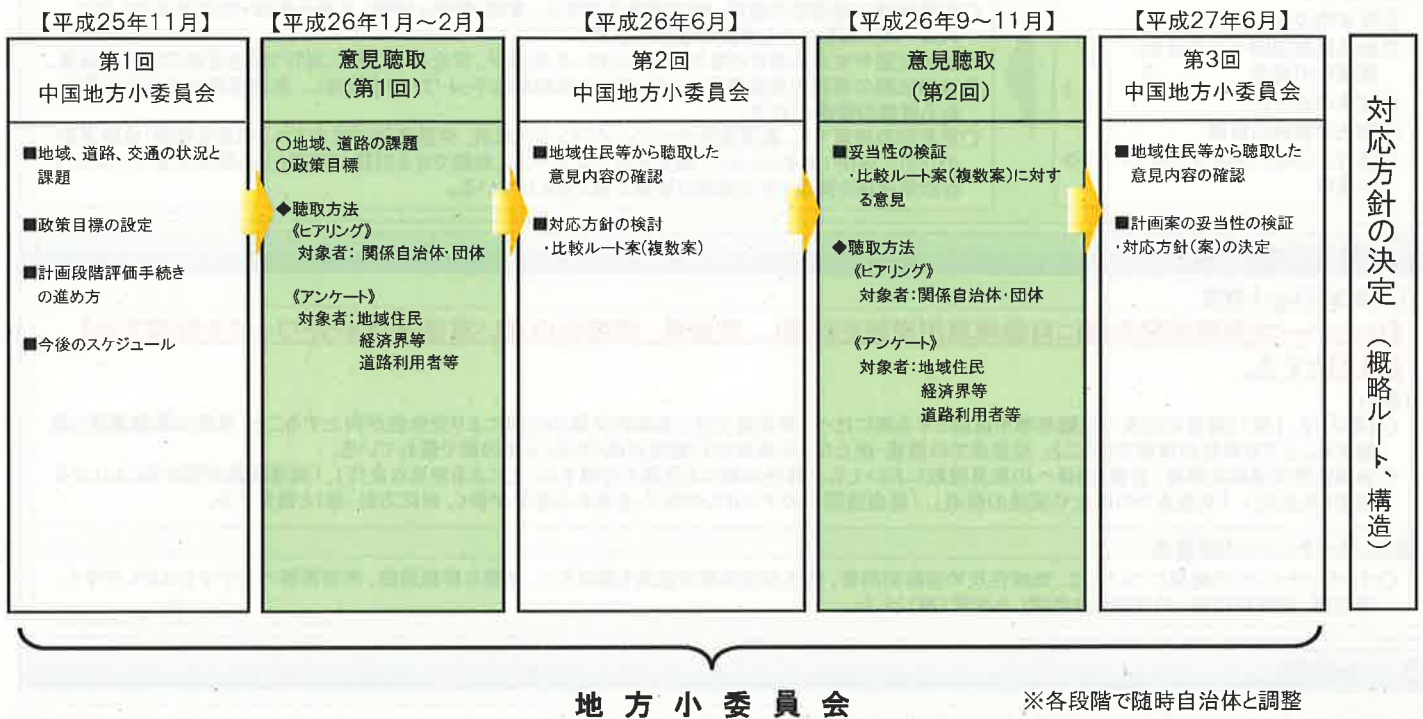


1. 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール：対応方針決定までの流れ

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略の計画案（複数案）〕について検討を行う。



2. 対応方針（原案）の検討

- はわい～大栄東伯間全線に自動車専用道路を計画し、安全性、定時性の高い高速道路ネットワークをに形成する。

【計画・ルートの考え方】

- ・通過交通と地域交通を分離し、交通事故の危険が少ない計画。
- ・事故や異常気象時にも幹線道路の通行止が生じにくい計画。
- ・救急医療施設や鳥取県東部～西部の移動の円滑性を確保する計画。
- ・景観上配慮すべき箇所や重要な史跡等への影響を避ける計画。
- ・走行性の高い道路ネットワークを形成する計画。

【インターチェンジ配置の考え方】

- ・主要な幹線道路との連絡性を考慮した計画。
- ・市街地や集落との連絡性を考慮した計画。
- ・道の駅や休憩可能な施設、災害時の拠点等との連絡性を考慮した計画。
- ・観光施設、公園などの交流施設との連絡性を考慮した計画。

山陰道（はわい～大栄東伯） L=13.5km



